福野地区工場用地活用基本構想 基本計画書概要版

福野地域の現状とまちづくりの課題

- ・交通の要衝としての利便性や伝統産業の繊維工業を中心に発展し、農工商 の調和のとれた地域となっている
- ・平成 27 年 3 月、南砺スマート I Cが供用開始され、全市的に広域アクセスの向上、産業・観光の活性化などが期待
- ・市街地内では、周辺や市外への人口流出、計画地を含め空き地や空き家、 空き店舗が増えるなど低迷した状況
- ・全国的な少子高齢化、希薄になりつつある地域コミュニティなどの社会問 顕への対応が必要



- ◆ 南砺スマート I C 周辺など交通立地条件の良好な地区で、新たな 産業拠点として積極的な企業誘致集約
- ◆ 市街地内に位置する計画地では、周辺事業者の操業環境の維持・ 向上に努めつつ、まちなかへの定住化や福祉の充実、地域コミュ ニティ形成に向けた機能を導入

計画地におけるまちづくりの基本方針

- | 隣接工業地と一体となる工業用地の確保
- 2 日常生活を支援する機能の誘導
- 3 身近な交流の場の整備

工場用地活用 基本構想·基本計画

土地利用計画

- <工業ゾーン(計画地北側ゾーン)>
 - ・隣接工業地と一体となった工業用地の確保
- <生活サービスゾーン(計画地西側ゾーン)>
 - ・日常生活を支援する公益施設や利便施設の立地誘導 (子育て支援施設、介護・福祉施設等)
- <交流ゾーン(計画地中心ゾーン)>
 - ・地区の交流の場となる施設や公園の整備

道路計画

<区画道路>

- ・市道寺家高儀線と(主)砺波福光線を連絡する市道二日町線の配置
- ・その他、街区を形成する外周道路と計画地中央を南北に連絡する南北線 (仮称)の配置

その他施設計画

- <公園・緑地>
 - ・子どもから高齢者まで安心・安全に利用できる身近な公園の整備
- <排水施設>
- ・市道二日町線などの道路区域内に主要雨水排水路の配置
- <その他施設>
 - ・新設道路の整備と併せた上下水道、消雪施設の整備

